

太田市地震防災マップ

深谷断層帯・綾瀬川断層による地震

揺れやすさマップ

発行：令和8年4月

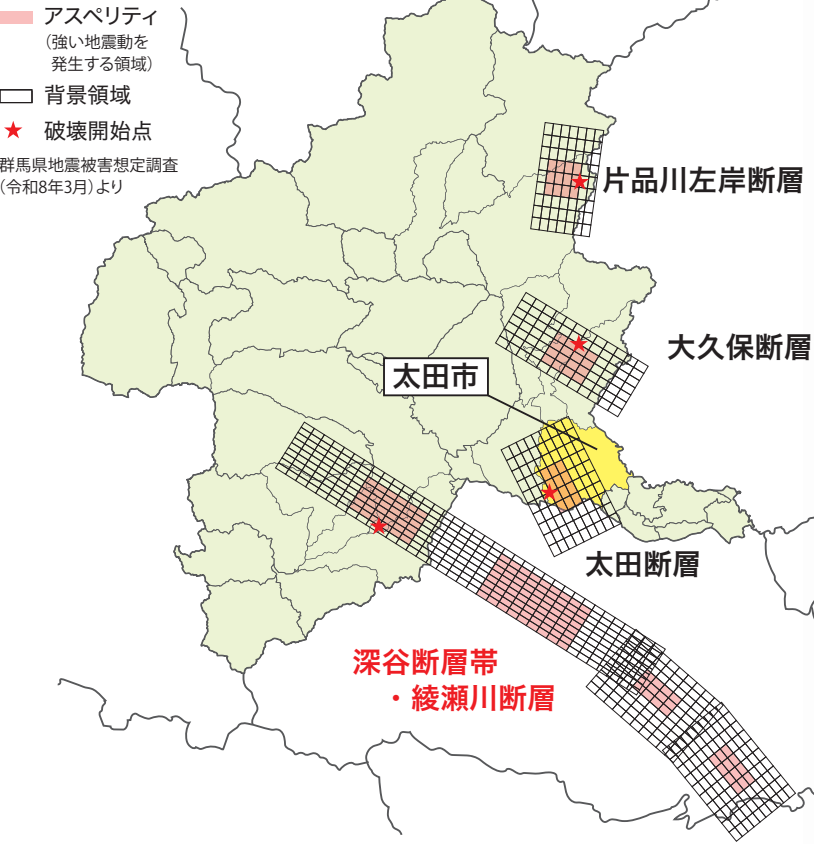
■揺れやすさマップとは

揺れやすさマップとは、地震が発生した場合の震度分布を、250mメッシュごとに震度階級で表示したものです。

■想定した地震

群馬県では、県内に大きな被害を与える可能性のある地震として、県内に4つの想定断層（帯）を想定しています。このマップでは、首都直下型地震の1つである「深谷断層帯・綾瀬川断層による地震（マグニチュード8.0）」での揺れやすさを表示しています。今回想定している震源以外でも、太田市近傍で大きな地震が発生する可能性があります。震源や地震の規模が変われば揺れやすさも変わることにご留意してください。

4つの想定断層（帯）の位置



震度階級の解説			
震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
震度5強	大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
震度6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
震度7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

出典：気象庁震度階級関連解説表

